

指導案検討シート (2年生 お手紙)

令和4年10月11日

○ ステップ1 単元(教材)で重点的に指導する指導事項 (=育成を目指す『資質・能力』)は何?

- ・C読むこと(1)エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
 - ・C読むこと(1)オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
- ⇒上記のどちらにするかを、まず授業者を含めたブロックで話し合ってください
- ・C読むこと(1)オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。

○ ステップ2 単元末で「資質・能力」が身に付いた児童の姿の具体を言葉で書いたら? =単元末で期待する児童の姿とは?

(広田先生) 発表はクラスの人にしたい
(校長先生) お手紙のがまくんは〇〇だったけど、()の△△くんは〇〇だった。(違いや似ているところを発表する方が良いのではないかな...?)

・並行読書の本と『お手紙』を比べたこと+自分の体験と結び付ける感想

言葉で書くと...?

ゴールイメージは裏です。

○ ステップ3 単元の目標を実現するための、ふさわしい言語活動が設定できている?

アーノルド・ローベルの作品を読み、クラスで感想を伝え合おう (単元名)

○ ステップ4 評価規準の設定はできている?

【知識・技能】⇒文の中における主語と述語の関係に気付いている。

【思考・判断・表現】⇒文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。※重点

⇒場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

【主体的に取り組む態度】⇒文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもち、すすんで伝え合おうとしている。

○ステップ5 単元の指導と評価の計画が、単元ゴールに向かうための計画になっていますか?

【単元ゴール】アーノルド・ローベルの作品を読み、クラスで感想を伝え合う

	主な学習内容	児童の具体的な姿 (振り返りの内容や児童が学ぶこと)	評価
一次	1.物語を読み、学習の見通しをもつ。	児童にどのような見通しを持たせ、どのような内容を書かせるか明記する。	
	2. 場面分けを行う。 ・各場面を短くまとめる。		物語を5つの場面に分けている。
二次	3. 一場面で、お手紙をまっているがまくんとかえるくんの気持ちを考える。 ④お手紙をまっているがまくんとかえるくんは、どんな気持ちだろう。	★それぞれの気持ちを自分も同じような場面に会ったら、どんな気持ちか考える。 ・がまくんのように手紙を待っていて何もなかった。悲しい。 ・かえるくんと同じで、友達が悲しい気持ちになっていたら、自分もそうなる。	人物の行動や様子に着目して、物語全体を捉えている。 ・文章と自分の体験を結び付け、感想をもっている。
	4. 手紙を出した、かえるくんの気持ちを考える。 ④手紙を出したかえるくんはどんな気持ちだろう。	★どうしていそいで手紙を出したのかを考える。 また、自分だったらそうするか考える。 ・早くがまくんに喜んでほしいから、急いだ。 ・自分だったらかえるくんと同じ行動をしていると思う。	
	5. かたつむりくんを待つ、かえるくん・がまくんの様子や気持ちを考える。 ④かたつむりくんを待つ、がまくん・かえるくんはどんな気持ちだろう。	★「あきあきしたよ」という言葉から、がまくんやかえるくんの気持ちや様子を考える。 ・がまくんは、手紙が来ないと思ひ、諦めている。 ・かえるくんは早くがまくんを喜ばせたいと思っている。	
	6. 手紙が来ると知った2人の様子や行動、気持ちを読み取る。 ④手紙がくると知ったがまくんは、どんな気持ちだろう。	★手紙をくると知った時の2人の気持ちや様子を読み取る。 ・がまくんが喜んで良かった。 ・どうして自分で届けなかったのか、不思議に思った。 ・がまくんがうれしそうだった。	
	7. 第一場面と第五場面を比べ、二人の様子や気持ちを読み取る。 ④どうして2人共幸せになったのだろうか。	★2つの場面を比べることができ、自分と結び付けて考えている。 【授業者が期待する振り返り】 ・〇〇くんの話を聞いて、かえるくんが喜んで理由が分かった。自分が初めてお手紙をもらい、うれしかった気持ちを思い出し、がまくんの気持ちがよくわかった。	
	8. お手紙が届いた時の二人の気持ちを考える。 ④お手紙が届いた時の2人はどんな気持ちだろう。	★4日間も待っていて、やっと届いた手紙をもらった時の気持ちを考える。 ・はじめて手紙をもらい喜んでいてがまくんを見て、かえるくんも喜んで思う。	
	9. 「お手紙」と選んだ本の比較を行い、相違点や共通点を見つける。	★人物の行動を具体的に想像し、同じところや違うところを見つける。 ・2つの話のがまくん、かえるくんにいる所やちがいを見つけたので、次の時間に感想を書く。	
	10, 11. アーノルド・ローベルの作品を読み、感想を書く。	★感想を書く際に自分の体験と結び付けて書く。 ・感想を書く時に、自分の体験を思い出し書くことができた。	
三次	12. 感想を交流する。	★感想を交流する中で、友達と同じところや違うところに気付き、感想を伝えあっている。 ・同じ話でも、友達と感想が違うのが楽しかった。・がまくん・かえるくんの気持ちの変化を考えることができた。・自分の体験を思い出し、感想を書くことができた。	文章と自分の体験とを結び付けて、感想を書く。

令和4年11月2日

○ ステップ1 単元(教材)で重点的に指導する指導事項 (=育成を目指す『資質・能力』)は何?

・C読むこと(1)エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり^と結び付けて具体的に想像することができる。

・C読むこと(1)オ 文章を読んで理解したことに基^づいて、感想や考えをもつことができる。

⇒上記のどちらにするかを、まず授業者を含めたブロックで話し合ってください。

・C読むこと(1)エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり^と結び付けて具体的に想像することができる。

○ ステップ2 単元末で「資質・能力」が身に付いた児童の姿の具体を言葉で書いたら?

= 単元末で期待する児童の姿とは?

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、具体的に想像することができ、場面の移り変わりも含めて表現することができる。

○ ステップ3 単元の目標を実現するための、ふさわしい言語活動が設定できている?

齋藤隆介さんの他の作品に出てくる
中心人物のリーフレットで想像したことを伝え合う

○ ステップ4 評価規準の設定はできている?

【知識・技能】⇒様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使っている。(1)オ

【思考・判断・表現】⇒登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり^と結び付けて具体的に想像することができる。C(1)エ

⇒文章を読んで理解したことに基^づいて、感想や考えをもつことができる。C(1)オ

【主体的に取り組む態度】⇒学習の見通しをもって、文章を読んで理解したことに基^づいて感想をもち、考えたことなどを伝え合おうとしている。

【単元ゴール】

齋藤隆介さんの他の作品に出てくる中心人物のリーフレットで想像したことを伝え合う

※ステップ3で決めた言語活動

	主な学習内容	児童の具体的な姿 (振り返りの内容や児童が学ぶこと)	評価
一次	1.物語を読み、学習の見通しをもつ。 齋藤隆介さんの作品の人物リーフレットを作るため、並行読書を行い、計画を立てる。	音読をして、物語の全体像をつかみ、感想を書くことができる。 豆太が臆病であることを読み取り、人物に着目した物語の感想を書くことができる。	ノート・発表 【思判表】
	2.初発の感想を交流し、学習の見通しをもつ。	感想や疑問点を書き、今後の学習の見通しをもつことができる。 他の児童との交流から、豆太が変わったのか変わっていないのかを意見を出すことができる。	ノート・発表 【態】
二次	3. 物語の内容の大筋を捉える。	物語を読んで、流れを捉え、あらすじを書くことができる。 豆太は夜のモチモチの木が怖い、モチモチの木の灯を見たいというように、豆太とモチモチの木を関係づけて表現することができる。	ワークシート・発表 【知技】
	4. 登場人物について想像し、捉えることができる。	登場人物について、叙述を基に想像することができる。 最初から最後まで豆太の臆病な性格は変わっていないことを、叙述を基に読み取る。また、豆太にとってじさまが大切な存在であることを読み取る。	ワークシート・発表 【知技】 【思判表】
	5. 第1場面から第5場面までの中心人物の特徴を一文で捉える。	中心人物の各場面の様子や言葉を基に、どのような人物かを捉えることができる。 各場面を「～な豆太」で表現することができる。臆病な豆太、モチモチの木の灯を見たい豆太というように豆太の性格や行動を一文で表す。	ワークシート・発表 【思判表】
	6. 第4場面から、中心人物の変容を捉え、作品のテーマについて考えて発表する。(本時)	中心人物の変容を捉え、その因果関係を文中から明らかにすることができる。	ワークシート・発表 【思判表】
	7. 物語の最初と最後から中心人物の変容を捉え、作品のテーマについて考えて発表する。	中心人物が変わったところと変わっていないところから、作品のテーマについて考え、発表することが出来る。 豆太が臆病なのは変わっていないが、勇気のある、やさしい心をもっていることを文中から読み取り、豆太にとって本当の勇気・優しさとは何かを自分の言葉で表現する。	ワークシート・発表 【思判表】
	8. 中心人物の性格について、リーフレットにまとめて発表する。	リーフレットに中心人物とその変容をまとめ、発表を通して中心人物の人物像について広げることができる。 今まで学習した豆太の性格や行動の言葉を用いて、リーフレットを作成している。	リーフレット・発表 【主】
	9. 齋藤隆介さんの他の作品に出てくる中心人物のリーフレットを作る。	モチモチの木で学習したことを用いて、他の作品の人物像を捉えてまとめることができる。 登場人物の性格や特徴を表す言葉を文中の言葉を用いながら説明をする紹介をしている。	リーフレット 【思判表】 【主】
	10. 齋藤隆介さんの他の作品に出てくる人物を紹介し、齋藤隆介さんの作品について考える。	紹介リーフレットで記入した内容を紹介したり聞いたりすることで、各児童が新たな視点を見つけ、作品や人物像の読み取りを深めることができる。	リーフレット・発表 【主】